

# INPIT誘致による地方創生上の効果について

2018年11月2日（金）

大阪府

商工労働部中小企業支援室 ものづくり支援課

# ■大阪府における知財戦略の位置づけ

## ◆副首都ビジョン（副首都推進本部（大阪府・大阪市））（2018年3月修正版）

- 2017年7月に開設された**INPIT近畿統括本部（INPIT-KANSAI）**により、新たなイノベーション創出につながる革新的・基盤的技術の権利化支援を強化し、世界市場に打って出る大阪産業・大阪企業を支援し、高付加価値な製品・技術を創出

## ◆大阪の成長戦略（大阪府）（2018年3月改訂版）

- 環境・新エネルギーや医薬品・医療機器といった先端技術産業など、有力な新分野や海外市場に果敢にチャレンジする中小企業を応援 ⇒ **INPIT近畿統括本部**等との連携による中小企業の知的財産に係る相談支援

**INPIT近畿統括本部の開設により、**  
大阪府内の中堅・中小企業に対する海外展開、営業秘密に関する支援件数：  
**前年度比約2.5倍に増加！**

# ■大阪府施策との連携

## ◆MOBIO知財サポートチーム

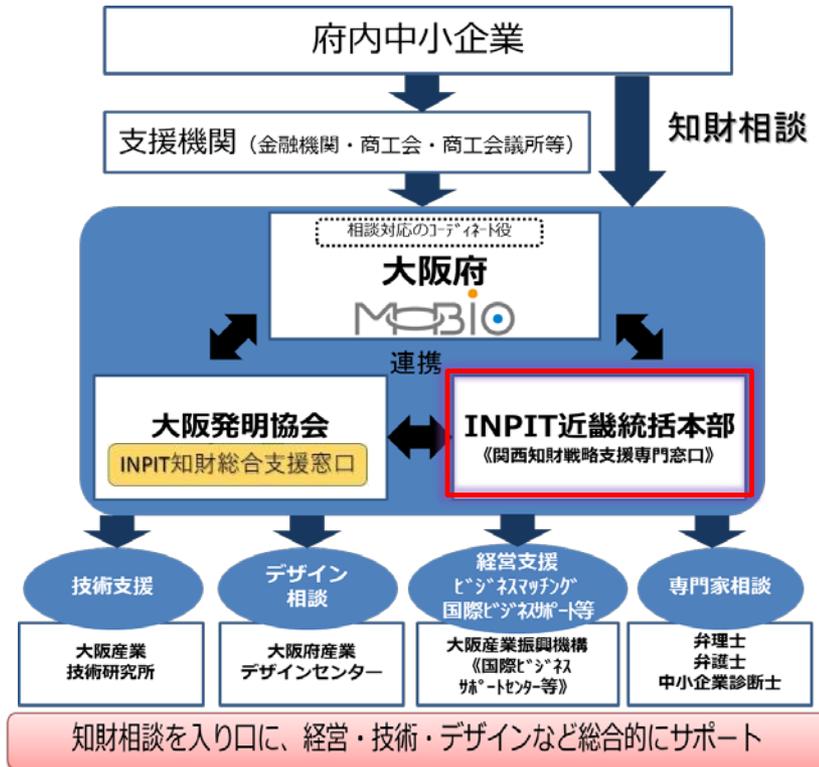
### これまで

- ・大阪府と関係機関等が運営する、ものづくり中小企業総合支援拠点「MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)」において、「INPIT知財総合支援窓口」を受託する大阪発明協会と連携し、制度概要や出願手続き等の一般的な知財相談を実施

### 誘致後

- ・上記の取組とともに、「INPIT近畿統括本部」が設置されたことから、大阪において「知的財産に関する高度・専門的な相談」が「常時可能」に

- ・一般的な知財相談から高度・専門的な相談まで、「INPIT知財総合支援窓口」と「INPIT近畿統括本部」を通じ、技術相談やデザイン相談などの企業サポートを各種支援機関と連携し、総合的に展開



## ■ 企業支援事例

INPIT近畿統括本部の開設により、特に中小企業の海外展開における知財面のサポート体制が充実

| 企業          | 相談内容   | サポート内容  | 利用者の声   |
|-------------|--|---|---|
| A社<br>(大阪市) | ・ASEANへ既に進出しているが、 <b>新たに米国への市場開拓を検討</b> している<br>海外   | ・米国の特殊性（訴訟費用が特に高額）<br>・現地での商標取得（ブランド戦略）           | 海外での商標登録の必要性など、非常に参考になった。引き続き宜しくお願したい。          |
| B社<br>(堺市)  | ・新規システム開発における <b>顧客情報の取り扱いを社内規程化</b> したい<br>情報管理     | ・取扱情報のたな卸し<br>・情報の重要レベル設定（アクセス権限など）               | 知的財産は専門性が高く、相談に行きにくいと感じていたが、訪問支援をしてくれて有り難かった。   |
| C社<br>(貝塚市) | ・これまで商社経由で輸出を行っていたが、 <b>現地から直接取引のオファー</b> があった<br>海外 | ・取引リスク（相手企業との責任の明確化）<br>・ブランドの毀損対策（異なるブランド名の使用禁止） | 現地との直接取引は初めてだったので、取引リスクに対する注意点をアドバイスしてもらえて良かった。 |

## ■ INPIT近畿統括本部の利用促進に向けた大阪府の取組み

### ◆ INPIT近畿統括本部活用促進事業（H29～）

○府が提案・誘致した「INPIT近畿統括本部」について、各種支援機関（金融機関や商工会・商工会議所等）と連携し、広報やセミナー・相談会の開催等を通じて、同本部の利用促進を図る。

### 【具体的取組】

◆各支援機関と連携したセミナー・相談会等の開催（H29実績：39回）

◆「支援機関連携推進会議」の開催（年2回）

- 【連携先】○金融機関（りそな・近畿大阪、池田泉州、大阪信金、日本政策金融公庫）  
○商工会・商工会議所（北大阪、東大阪、八尾、柏原、富田林、堺、岸和田）  
○支援機関（公設試（大阪技術研）、大阪産業創造館、関西広域連合など）

◆広報・PR ○展示商談会への出展  
○「ものづくり補助金」「外国出願支援事業」採択企業にINPIT相談窓口リーフレットを配布（約1,400部）



・大阪府ブースで「INPIT近畿統括本部」を紹介（大阪勤業展（H29.10））

## ■ 今後の取組み

### ◆ オール大阪で中小企業のグローバル化戦略を支援 ～おおさか・グローバル・メソッド～

大阪府では、商工会議所や金融機関等と連携し、輸出や生産・販売拠点・インバウンド対応など、アジアとの海外取引を考える中小企業の経営者等を対象に、グローバル化戦略立案のために必要な情報やノウハウを提供する全3回のプッシュ型の連続講座を開講する（10月～）

参加企業に対しては、海外展開に向けた企画立案から事業実現まで、伴走的な支援を行うこととしており、INPIT近畿統括本部は知的財産分野における専門性を活かしたバックアップを行う。

The logo for Osaka Global Method is a dark blue square with the words "Osaka", "Global", and "Method" stacked vertically in white, sans-serif font.

Osaka  
Global  
Method